

## 第1日目 3月19日 (水) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウム 1 (公開)	シンポジウム 2 (公開)
9:00	日本地理学会百年の歩みとこれから 〔主催〕日本地理学会理事会	次期改訂に向けての小中高 地誌学習の新たな方向性 ——GIS・フィールドワーク・ エージェンシー——
9:20	開始時刻 9:00	〔オーガナイザー〕田部俊充 (日本女子大) ・ 吉田 剛 (宮城教育大)
	9:00-9:15〔趣旨説明〕	開始時刻 9:00
S101	鈴木康弘 (名古屋大) : 日本地理学会百年の歩みとこれから	9:00-9:15〔趣旨説明〕
9:40	9:15-9:45〔招待講演〕	S201 田部俊充 (日本女子大) : 次期改訂に向けての小中高地誌学習の新たな方向性—GIS・フィールドワーク・エージェンシー
S102	石原あえか (東京大) : 地質学と地理学のはざま—地図コレクターとしてのJ. W. v.ゲーテと山崎直方	9:15-10:30
10:00	9:45-10:30	S202 吉田 剛 (宮城教育大) : フィールドワークと地誌学習—地理的探究における地理的な見方・考え方の育成
S103	小口 高 (東京大) : 日本地理学会と地形学—1925年までの経緯と現在	S203 木場 篤 (ノートルダム清心中・高) : 中等地理教育の地誌学習からエージェンシーを育成するための提案
S104	松原 宏 (福井県立大) : 日本地理学会百年史の編集について	S204 伊藤智章 (静岡県立富士東高) : 次期学習指導要領を見据えた地誌学習のあり方について—地図・GIS活用の観点から
10:20	S105 村山祐司 (筑波大・名誉) : これからの日本の地理学を考える	S205 松樹琴乃 (愛知県立一宮高) : 地理総合におけるエージェンシーの育成—地誌を踏まえた諸課題の解決を通して
	〔休憩〕 10:30-10:40	S206 濱野 清 (兵庫教育大) : 次期学習指導要領地誌学習に期待すること
10:40	10:40-11:55	〔総合討論〕 10:40-11:25
S106	箸本健二 (早稲田大) : 日本地理学会の公益社団法人化へ向けて	11:25-11:45〔総括〕
S107	氷見山幸夫 (北海道教育大・名誉) : IGU前会長から見た日本地理学会の実績と課題	S207 中山正則 (越谷市立増林小) : 総括 次期改訂に向けての小・中・高 地誌学習の新たな方向性—「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」の諮問を受けて
11:00	S108 春山成子 (三重大・名誉) : 日本学術会議における地理学の活動	S208 中嶋則夫 (大正大) : 次期改訂に向けた現行課程における地誌学習のポイントの整理
11:20	S109 矢野桂司 (立命館大) : 日本地理学会と人文地理学会の歩みと発展—協働による地理学界の未来	〔おわりに・次回予告〕 11:45-12:00
11:40	S110 井田仁康 (筑波大・名誉) : 地理学会における地理教育の意義と将来に向けて	
	〔質疑〕 11:55-12:00 閉会の辞	
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月19日 (水) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	〈経済・産業〉	
	401 山下潤 (九州大) : 公正な移行に向けたグリーンジョブの地域的な動向—スウェーデンを事例として	9:00
	402 永田将真* (東北大・院) ・中谷友樹 (東北大) : グリーン・イノベーションの創出メカニズムに関する特許データの地理的統計解析	9:20
〈人口・行動〉		
303 滝川陽稀 (大阪大・院) : 農村移住者の経験が場所愛着と定住意向に与える影響—和歌山県紀美野町を事例として	403 山田育穂 (東京大) ほか: 東京23区におけるスタートアップの事業分野別空間分布	9:40
304 桂川健人 (東北大・院) ほか: 日本におけるライフスタイル移住で上昇する幸福度に関する考察—複数の尺度と移住後の行動に注目して	404 鹿嶋航 (筑波大・院) : 薬局事業者の地理的分布と変化—東京23区北西部を事例として	10:00
305 名富大峨* (早稲田大・院) ・納富信 (早稲田大) : 地域おこし協力隊活動が地域社会に与える影響に関する研究—地域産業に従事する地域おこし協力隊員に着目して	405 大西健太 (東京大・院) : 地方圏におけるアニメ制作者の労働市場と地域間移動	10:20
306 薄井晴 (筑波大・院) : 子育て世帯による社会関係の構築と育児不安の変化—福岡市および宇美町の地域子育て支援拠点事業の参加者を事例に	406 鮫島卓 (立教大・院) : アグリツーリズムの集積と地域類型	10:40
	〈観光〉	
307 大沼勇斗 (筑波大・院) : 東京23区における外国人の国籍別小地域人口分布の特徴と分類—2020年国勢調査マイクロデータを利用したエスニックマップの作成	407 外戸保大介 (九州大) : 進化経済地理学による経済地理学と観光研究の経路融合	11:00
308 小坪将輝* (東北大・院) ・中谷友樹 (東北大) : 日本における国内人口移動の減少のダイナミクス	408 村越貴光 (駒澤大・院) : 静岡県沼津市のコンテンツツーリズムの持続要因と課題	11:20
309 大塚静空* (駒澤大・学) ・瀬戸寿一 (駒澤大) : 新型コロナウイルス感染症における日常生活の時空間変化—埼玉県・千葉県・神奈川県を事例に	409 黒田凌雅 (熊本大・院) : 「アニメ聖地」におけるコンテンツの地域活用モデル—京都府宇治市と『響け! ユーフォニアム』を事例に	11:40
		12:00
昼 休 み		

# 第1日目 3月19日 (水) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		<p>〈歴史・文化〉</p> <p>601 古関大樹（京都女子大・非常勤）：徳島県の明治期の地籍図に関する一考察</p>
	〈地域計画・地域政策〉	
9:20	502 趙孫暁（広島大・院）：中国における「伝統村落」保全と地域資源の活用—雲南省諾鄧村の住民意識にもとづく一考察	602 伊藤 悟（金沢大・名誉）：第二次世界大戦中における民間発行地図の改描—池善書店池亮吉の金沢市街図
9:40	503 渡邊瑛季（帝京大）：青森県八戸市におけるスケート競技文化の資源化	603 李詩涵*（筑波大・院）・池田真利子（筑波大）：台北市における日本統治時代遺産の現状に関する文化遺産学的研究—市民によって利活用される建築遺産に注目して
10:00	504 杉浦真一郎（名城大）：福岡県における市町村別にみた地域包括支援センターの設置状況	604 小林 護：道路元標の形態差から推測できる設置主体の地域差
10:20	505 吉井 潤（図書館総合研究所）：立地適正化計画に基づいた善通寺市・和歌山市・酒田市の公立図書館整備事例	605 島本多敬（滋賀県立琵琶湖博）：19世紀中期近江国の「砂留」
10:40	506 有田英樹（筑波大・院）：行政主導による低利用不動産の利活用がもたらす中心市街地の機能変容—群馬県前橋市を事例に	606 吉村健司（東京大）：環境変化がもたらす三陸沿岸部におけるサケ文化の変容—宮古市津軽石地区を事例に
	〈都市・交通〉	
11:00	507 西村拓真（京都府立嵯峨野高）：広島市中心部における規制緩和型都市計画の運用と人口増加の地域的傾向	607 清水克志（筑波大）：20世紀半ばの日本における野菜種子産地の全国的動向
11:20	508 石川慶一郎*（愛媛大）・丸田あかり（愛媛大・学）：松山市中心市街地における分譲マンション居住者の特性と移動経歴	608 伊端 敦（駒澤大・院）：神奈川県葉山町における別荘地の形成と「葉山ブランド」の成立過程
11:40	509 由井義通（広島大）：広島市の郊外住宅団地における超高齢化と認知症カフェの実態	609 末永芽久（立教大・院）：日常生活における野生キノコ採集の継続—岐阜県付知町を事例として
12:00	昼 休 み	

# 第1日目 3月19日 (水) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
		9:00
	〈水文〉	
	802 乙幡正喜* (法政大・院)・小寺浩二 (法政大) : 新河岸川流域の河川水質の変化とその要因について (2)	9:20
	803 小田理人* (千葉大・院)・小寺浩二 (法政大) : 東京近郊河川の局所的汚濁の解明	9:40
〈政治・社会〉		
704 田伏夏基 (明治大・院) : スケートボードパークの整備にみる公共空間の管理と自治	804 小寺浩二 (法政大) ほか : 水文観測データの代表性に関する水文地理学的一考察 (1) —長期継続観測の頻度に関する検討を中心に	10:00
705 本多一貴 (立正大・院) : 東京大都市圏周縁部の住宅地における低未利用地の管理不全抑止に向けた対応と法的制約	805 林 武司 (秋田大) ほか : 地盤標高モデルと現地調査に基づくメコンデルタ西部の水循環の検討 (第2報)	10:20
	〈気候〉	
706 鈴木勇人 (東京大・院) : 2000年代以降の東京大都市圏における民間部門墓地供給と立地の変化	806 八木碧月* (筑波大・院)・日下博幸 (筑波大) : 複数の都市街区気象モデルの相互比較	10:40
707 船橋理仁 (名古屋大・院) : 全国での学習支援事業の委託先分析からみた市場化の進行	807 仙石和正 (筑波大・院) ほか : 中立を仮定したべき乗則に基づく風速鉛直分布推定の誤差特性と大気安定度に応じたべき乗指数の設定	11:00
708 松岡由佳 (名古屋大) : 北海道における障がい者雇用と就労支援の地域差	808 中村祐輔 (筑波大) ほか : 日本版Local Climate Zoneの開発	11:20
709 中尾太一 (東北大・学) ほか : 「平成の大合併」は自治体内経済格差を拡大したか	809 青田優希* (筑波大・院)・日下博幸 (筑波大) : 大阪都市圏における対流性降水に対する都市の影響評価	11:40
<div style="text-align: center;"> <p>昼 休 み</p> </div>		12:00

第1日目 3月19日 (水) 午前

開始時刻	第 9 会 場	
9:00		
9:20		
9:40	<p>〈海外地域研究〉</p> <p>903 戸沼雄介* (横浜国立大・院)・平野 央 (慶応義塾大・学) : KUSI KAWSAY ANDEAN SCHOOLにおけ る民族自律を目指した取組み</p>	
10:00	<p>904 須崎成二 (立正大) : コロナ禍におけ る台北のゲイビジネスおよびレズビア ンビジネスの経営戦略</p>	
10:20	<p>905 山元貴継 (琉球大) : 韓国地方都市に おける「広域行政」と主要施設立地変化</p>	
10:40	<p>〈地形〉</p> <p>906 吉位優作 (京大・院) : インドネシ ア・リアウ州北部沿岸地域における陸化 干潟形成による生業への影響</p>	
11:00	<p>907 菅 浩伸 (九州大) ほか : 2024年能登半 島地震後の沿岸浅海底調査—地形・地 質調査の空白域に挑む</p>	
11:20	<p>908 中田 高* (広島大・名誉)・柴田 亮 (新居浜高専) : 室津港の延宝年間以 降の深さの変化と地震隆起</p>	
11:40	<p>909 後藤秀昭 (広島大) ほか : 相模トラフ 中北部周辺の変動地形</p>	
12:00		
	<p>昼 休 み</p>	

## 第1日目 3月19日 (水) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム 3 (公開)	シンポジウム 4	
避難の地理学 ——避難に関わる様々な 課題の解決に向けて——	Management geography: Introducing management perspectives in geographical research	13:00
〔オーガナイザー〕村山良之 (東北大)・田中靖 (駒澤大)・小田隆史 (東京大) (災害対応委員会)	Organizer: Schlunze Rolf D.(Ritsumeikan Univ.) and Taira A.(Kagawa Univ.)	13:20
開始時刻 13:00	Start time 13:00	
S301 13:00-13:20 [趣旨説明] 村山良之 (東北大) ほか: 避難の地理学—避難に関わる様々な課題の解決に向けて	S401 13:00-13:10 Taira A.*(Kagawa Univ.) and Schlunze Rolf D.(Ritsumeikan Univ.):Management geography: Agenda and the purpose of the symposium	13:40
S302 13:20-13:40 [招待講演] 桜井愛子 (神戸大) : 実効的・持続的な学校防災の実現に向けて	S402 13:10-15:50 Popovics, P. N.*(Copenhagen Business School) and Ström, P.(Stockholm School of Economics): Digitalization and green economy transition in EU and Japan: Smart cities and society 5.0 within the changing geopolitical context	14:00
S303 13:40-14:00 牛山素行 (静岡大) : 災害リスク情報・防災気象情報と洪水・土砂災害発生場所		14:20
[休憩] 14:00-14:05	S403 Sanada, K.*(Ritsumeikan Asia Pacific Univ.) et al.: Regional development via fostering green service ecology: A case study from Skellefteå, Sweden	14:40
S304 14:05-14:20 西村智博 (国際航業) : ハザードマップの作成現場から	S404 Schlunze, R. D.*(Ritsumeikan Univ.) and Dorożyński, T.(University of Lodz): Sand in the gears: A case of a Japanese MNE in Poland analysed from a management geography	15:00
S305 14:20-14:35 田中耕市 (青山学院大) ほか: 令和元年東日本台風の水害被災地域における産官学民による防災・減災に関する取り組み	S405 Abe, Y.*(Kyushu Univ.) and Zhang, Q.(Graduate Student, Kyushu Univ.): The spread of home-made meal delivery services in Beijing and the role of social networks in it	15:20
S306 14:35-14:50 岩船昌起 (鹿児島大) : 東日本大震災にかかわる津波避難と防災教育の振り返り—南海トラフ地震を始めとする津波避難対策の今後展望して	S406 Wang, X. (Ritsumeikan Univ.): Chinese entrepreneur's success in Japan: Case study on cross-cultural management in relational space	15:40
S307 14:50-15:05 青木賢人 (金沢大) : 能登半島地震と奥能登豪雨にみる「避難」の諸相	S407 Kristiansen, A. (Stockholm School of Economics) : The cryptoasset industry in Singapore and Hong Kong	16:00
[休憩] 15:05-15:10	S408 Pachura, P. (Częstochowa Univ. of Technology): In search of organizational structures of spaces : Theoretical discussion and empirical verification	16:20
[総合討論] 15:10-15:55 司会 小田隆史 (東京大)	S409 Suwala, L. (Technical Univ. Berlin): Beyond management geography? Corporate, place leadership-international casa studies with a focus on Japan(Montbell Group)	16:40
16:15~16:45 表彰式	[General discussion ] 15:50-16:00 moderated by Taira, A. and Schlunze, R. D.	17:00
(16:00~17:00) ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場)		

## 第1日目 3月19日 (水) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	〈地理教育〉	〈観光〉
13:00	311 井上大輝(東北大・学)ほか:新型コロナウイルス感染拡大に伴う学力の都市内地域格差拡大とその背景—大阪市の全国学力・学習状況調査の結果から	411 薛子怡(筑波大・院):富士山における観光プロモーション活動が外国人登山者の行動に与える影響
13:20	312 森下航平*(京大・院)・西村訓弘(三重大):地方都市進学校における地域課題を題材とした教育活動—三重県立津高等学校での実践の事例	412 楊楠(九州大・院):デジタル時代におけるインバウンド旅行者の訪問動向と地域特性の分析—太宰府天満宮を訪れる中国語圏観光客のアンケート調査を通じて
13:40	313 高木佑也*(ドルトン東京学園中・高)・本間愛佳(NTT東日本・地域循環型ミライ研):地域越境型探究学習が受け入れ地域にもたらす効果と課題	413 綱川雄大(明治大・院):非都市型観光地におけるインバウンドの流入と宿泊業の誘客戦略—長野県軽井沢町の事例
14:00	314 山口幸男(群馬大・名誉):地誌学習論の類型化と非地誌的地誌学習論批判	414 武田和大(都立大・学)ほか:MASを用いた観光地の混雑の再現と解決策の検討—神奈川県藤沢市江の島を事例に
14:20	315 首藤慧真(広島県立広島井口高):「認知された空間」から地域をとらえる構成主義的地誌学習—高等学校地理探究における中国地誌を事例に	415 五十嵐純護(筑波大・院)ほか:山岳リゾートにおけるコミュニティ・ビジネスの形成過程—白馬村の百馬力を事例として
14:40	316 榊原保志*(信州大)・濱島良太(信州大附属松本小):小学校における災害デジタルアーカイブ動画視聴が避難生活の理解や防災意識に与える教育効果	416 田中謙太郎(神戸大・院):「生活と観光の調和」と場所感覚—広島県尾道市旧市街を事例に
15:00	317 平井史生*(駒澤大・非常勤)・平井誠(神奈川大):視覚障がい学生向け触地図教材の製作	417 大石太郎(関西学院大):旅行案内書からみた20世紀初頭のニュージーランドの旅
15:20	318 小林岳人(千葉県立幕張総合高):高等学校地理授業におけるオリエンテーリング実習の効果の比較	418 小室 譲(帝京平成大):タイ・サムイ島における観光振興がもたらす就業継続の困難性
15:40		419 松木駿也(大阪公立大・学振DC):ジオパークにおける災害経験の共有—リンジャニ・ロンボクジオパークを事例に
16:00	-----	
16:20	16:15~16:45 表 彰 式 (第1会場)	
16:40	(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場)	
17:00		

## 第1日目 3月19日 (水) 午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
〈都市・交通〉	〈歴史・文化〉	
511 楢引素夫 (青森大) : 整備新幹線と基本計画路線をめぐる2025年の論点—各地での対話とヒアリングから	611 矢ヶ崎典隆 (東京学芸大・名誉) : アメリカ西部における製糖工場の廃墟と砂糖の遺産	13:00
512 田代雅彦 (九州産業大) : 自然災害による鉄道の不通と廃止の動向と九州の現状	612 植草昭教 : 稲毛海岸の記憶を伝える活動について—いなげ八景の物語をめぐる	13:20
513 谷貝 等 (計量計画研究所) : 時間地理学を応用した公共交通機関の運行サービス水準の計測手法	613 宰川 玲 (京都大・院) : 紫雲丸事故 (1955年) における分極的な追悼空間の形成	13:40
514 植 遥一朗 (早稲田大・院) : 高速道路の開通が沿線地域に与える影響—市町村へのアンケート調査の結果から	614 本多忠素 (大阪公立大・院) : 多元主義的宗教空間の形成—福岡市「吉塚リトルアジアマーケット」を事例として	14:00
515 竹川陽揮 (専修大・院) : 路線バスを利用した貨客混載の現状に関する研究	615 肖 瑤* (筑波大・院)・池田真利子 (筑波大) : 昭和遺産としての昭和純喫茶の文化遺産的価値とその創造的継承の現状と課題に関する研究	14:20
516 Wang, Y. (Graduate Student, Univ. Tsukuba) : Problems in the diffusion of Electric Vehicles in Dalian, China	616 松本季海芳 (筑波大・院) ほか : 有形・無形の統合的アプローチに向けた世界遺産学的研究—グローバル・ナショナル・ローカールスケールにおける弾力的運用の実態に注目して	14:40
517 原田溪介 (駒澤大・学) : サンフランシスコにおけるアーバンドゥームループの検証	617 松山周一 (昭和女子大) : 画像生成AIによる場所イメージの客観的かつ理想的な視覚化の可能性	15:00
518 木内奎吾 (パスコ) : COVID-19流行後の近畿大都市圏の構造変化の考察—近畿圏パーソントリップ調査を用いて		15:20
519 浅子湧土 (筑波大・院) : 建物所有者と入居事業者の意思決定が商業地形成に与える影響—東京都千代田区秋葉原を対象に		15:40
-----		16:00
16:15~16:45 表 彰 式 (第1会場)		16:20
(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場)		16:40
		17:00

## 第1日目 3月19日 (水) 午後

開始時刻	第 7 会 場	第 8 会 場
	〈植生〉	〈気候〉
13:00	711 手代木功基 (金沢大) ほか: 富士山北西斜面における樹木限界の規定要因—高精度地理情報を用いた検討	811 鈴木信康* (筑波大・院) ・日下博幸 (筑波大) : タイ・バンコクの都市化が雲量に与える影響
13:20	712 大谷侑也 (摂南大) : 東アフリカ高山帯のジャイアントセネシオの枯葉を用いた過去200年間の乾燥ストレスの推定	812 秋山一真 (駒澤大・院) : 東京・埼玉における夏季の局地的強雨域の形成の地域性
13:40	713 佐藤元彌 (駒澤大・院) : 河道掘削における多自然川づくりの植生への影響—信濃川山島新田地区を事例として	813 大和田春樹 (気候環境研究会) ほか: 一宮市における夏型気圧配置時の都市の高温化特性
14:00	714 梶原拓人* (都立大・院) ・川東正幸 (都立大) : 海岸林における植栽基盤材料とリターフォールが土壌生成にもたらす影響	814 安倍啓貴 (筑波大・院) ほか: 局地風『六甲おろし』が発生する気圧配置とその発生メカニズム
14:20	715 細渕有斗* (都立大・院) ・吉田圭一郎 (都立大) : UAVを用いた風衝地における偏形樹分布と風環境の推定	815 浅野裕樹 (筑波大) ほか: 大阪市沿岸部および商業地におけるドップラーライダーを用いた上空風の観測
14:40	716 吉田光翔 (都立大・院) ほか: 植生帯境界域における構成樹木の種間関係の標高変化	816 岩永博之 (東京電力HD) ほか: 東京湾沿岸部上空における大気エアロゾルの季節変化—横浜のスカイラジオメータ観測値と周辺観測地点との比較
15:00	717 吉田圭一郎 (都立大) ほか: 植生帯境界における地形と関連した樹高の空間分布	817 五味すみれ* (都立大・院) ・高橋日出男 (都立大) : 長野県諏訪地域における塩嶺風の特徴—地上気象観測データを中心として
15:20		818 重田祥範 (鳥取環境大) ほか: 三重県御浜町で発生する“風伝おろし”の発生頻度と出現する霧のタイプ—気象観測と定点カメラによる分析
15:40		819 今枝侑香* (鳥取環境大・学) ・重田祥範 (鳥取環境大) : 京都府福知山盆地で発生する霧の気候学的特徴
16:00	-----	
16:20	16:15~16:45 表 彰 式 (第1会場)	
16:40	(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場)	
17:00		

# 第1日目 3月19日 (水) 午後

第 9 会 場	開始時刻
<p>〈地形〉</p> <p>911 金子朋紀 (茨城大・院) ほか: 福島県浜通りの双葉断層における常時微動観測による断層位置の推定及び地形発達史の検討</p> <p>912 長谷川 均 (国土館大・名誉) ほか: 佐渡島平根崎の冷水性炭酸塩堆積岩に形成された海岸カルスト</p> <p>913 山野博哉* (東京大)・山口 徹 (慶應義塾大): 北部クック諸島ブカブカ環礁における完新世海面変動と地形形成</p> <p>914 中井達郎(国土館大)ほか: サンゴ礁モニタリングにおけるUAVおよび潜水を併用した調査方法の有効性—沖縄・伊平屋島で2024年の白化現象前後の比較</p> <p>915 宮城豊彦 (東北学院大・名誉) ほか: 急激な海水準上昇の初期相におけるマングローブ生態系へのインパクト</p> <p>916 小松原 琢 (滋賀県立琵琶湖博): 熱田面と碧海面の2分案</p> <p>917 高波紳太郎 (明治大): 都城盆地における入戸火砕流堆積後の侵食基準面低下と段丘形成</p> <p>918 西脇圭一郎* (元駒澤大・院)・柳田 誠 (元駒澤大): 日本の天井川の北限について</p> <p>919 高橋直也 (東北大) ほか: 源流部における堆積物粒子の形状変化</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>
<p>16:15~16:45 表彰式 (第1会場)</p> <p>(16:00~17:00 ポスターセッション 発表者による説明 ポスター会場)</p>	

## 第2日目 3月20日 (木・祝) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウム 5 (公開)	シンポジウム 6
9:00	初等教育における世界的な 視野の獲得について	日本における持続可能な観光の 諸相と地域的条件
9:20	〔主催〕 日本学術会議地域研究委員会・地球惑 星科学委員会合同地理教育・ESD分科会、日 本地理学会地理教育専門委員会 〔オーガナイザー〕 井田仁康(筑波大・名誉)・村 山朝子(茨城大・名誉)・由井義通(広島大)	〔オーガナイザー〕 呉羽正昭(筑波大)・Funk Carolyn(広島大)・有馬貴之(横浜市立大)
	開始時刻 9:00	開始時刻 9:00
9:40	9:00-9:10 〔開会挨拶・趣旨説明〕 S501 井田仁康(筑波大・名誉)ほか:初等教育に おける世界的な視野の獲得について	S601 呉羽正昭(筑波大)ほか:日本におけ る持続可能な観光の諸相と地域的条件
10:00	9:10-10:40 S502 村山朝子(茨城大・名誉):小・中学校にお ける「世界の学習」の変遷と現在	S602 小島大輔(大阪成蹊大):新潟県十日 町市における雪を活用したイベント存 続の地域的意義
10:20	S503 秋本弘章(獨協大):小中高を通じた世界 地理学習の課題	S603 池田千恵子(大阪公立大):地域資源 の活用と分散型宿泊施設
10:40	S504 阪上弘彬(千葉大):初等地理教育に おける「世界」の学習—イギリス地理 科, ドイツ事実教授の場合	S604 有馬貴之(横浜市立大)ほか:観光客 の空間利用と住民の観光意識の関係— 鎌倉市における観光客の人流と住民意 識調査のデータを用いて
11:00	S505 中谷佳子(千葉大学附属小):小学校にお ける世界の学習状況	S605 杜 国慶(立教大):SNS投稿数にみる 観光スポット選好の言語間異同一持続 可能な訪日観光に着目して
11:20	S506 中澤高志*(明治大)・久木元美琴(京 都大):国際理解教育の社会実装につ いて考えるために—「多文化共生都 市」別府における2つの個人的経験	S606 Funk, C. (広島大):持続可能な島観 光の検討—世界遺産離島の事例から
11:40	〔コメント〕 11:00-11:30 小長谷有紀(国立民族学博・名誉):文化 人類学の立場からの世界の学習 佐藤真久(東京都市大):国際理解教育・ ESDの立場からの世界の学習 田山享子(共栄大):英語教育の立場から の世界の学習	S607 呉羽正昭(筑波大):日本のスキーリ ゾートにおける宿泊施設の新規立地と 地域的課題
12:00	三橋浩志(文部科学省):最近の教育改革 の動向と「小学校・世界の学習」の関係 〔質疑応答・パネル討論〕 11:30-12:00	〔コメント1〕 10:35-10:55 吉沢 直(北海道大) 〔休憩〕 10:55-11:05 〔コメント2〕 11:05-11:20 松井圭介(筑波大) 〔総合討論〕 11:20-12:00 終了時刻 12:00
	昼 休 み	

第2日目 3月20日 (木・祝) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	〈政治・社会〉	
	431 浅野敏久 (広島大) : 出水平野におけるツルと人々の共存と地域博物館の役割	9:00
	432 中原 愛 (広島大・院) : 野生動物と人の関係における交雑問題とは—広島県における特別天然記念物オオサンショウウオの事例から	9:20
〈地図・GIS〉		
333 田林 雄 (関東学院大) : 地形図のデジタル化におけるAIの適用	433 蜂谷英介 (広島大・院) : 農山村地域における生物保全活動と住民の意識—広島県世羅町における活動とコウノトリの飛来を事例として	9:40
334 中辻 享* (甲南大)・渡辺一生 (京都大) : ラオスの1959年撮影航空写真を用いた広域オルソモザイク画像の作成	434 富田啓介 (愛知教育大) : 地域コミュニティが主導した太陽光発電施設敷地内の希少自然環境の保全—岐阜県可児市大森奥山湿地群の事例	10:00
335 平出尚義 (RESTEC) ほか : 時系列整合性を考慮した2020年版JAXA日本域高解像度土地利用土地被覆図の作成及び高精度化に関する検討	435 中島弘二 (金沢大) : 松下竜一「環境権」思想の再考	10:20
336 大田寛之 (国家公務員) : 戦前期都市計画測量と陸地測量部出身技術者—帝都復興事業期の横浜市を例に	436 堤 研二 (大阪大) : 三池争議におけるコンフリクトの構造	10:40
337 桐村 喬 (京都産業大) : 1961~2021年のDSMを利用した神戸市既成市街地における建物高さの時空間分析	437 中川祐希 (大阪公立大・研) : 英語圏地理学における報復都市論の展開	11:00
338 中島唯登 (都立大・学) ほか : MASを用いた調布駅周辺における地下化前後の移動時間の変化	438 早川凌矢 (名古屋大・院) : 社会的排除/包摂とひとり親世帯	11:20
339 増山 篤 (弘前大) : 地理的マスキングがポイント分布パターン分析結果やブライバシー保護に与える効果の検証	439 嵯 宸 (東京大・院) : 関帝廟再建にみる1970年代以降の横浜華僑社会の変容—マルチスケールでの分析から	11:40
		12:00
昼 休 み		

## 第2日目 3月20日 (木・祝) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈農業・農村〉	〈海外地域研究〉
9:00	531 川久保篤志 (東洋大) : コロナ禍による食料需給の変化と果樹加工品業界の対応	631 王 婷*・渡辺悌二 (北海道大) : 地域コミュニティによるトレイル管理の課題と可能性—ネパール, サガルマータ国立公園の事例
9:20	532 深瀬浩三 (立正大) : コロナ禍における果樹需給構造の変化と観光農園・果樹産地の対応	632 佐々木美紀子* (北海道大・院)・渡辺悌二 (北海道大) : サガルマータ国立公園, クムジュン村における1990年代以降の牧畜の変化
9:40	533 淡野寧彦 (愛媛大) : コロナ禍における行動形態の変化と観光牧場の対応	633 渡邊悌二 (北海道大) ほか: サガルマータ国立公園から将来ヤクはいなくなるのか?
10:00	534 佐々木 達 (法政大) : コロナ禍による食料需給の変化とコメ市場への産地対応	634 山口隆子 (法政大) : フェロー諸島の草屋根民家
10:20	535 鈴木 碧*(東京農工大・学)・観山恵理子 (東京農工大) : 地域圏フードシステムにおける非営利主体の役割—所沢市シルバー人材センターを事例として	635 中井信介* (佐賀大)・池谷和信 (国立民族学博物館・名誉) : 移住と定住化による生業変容—タイ北部における地域比較
10:40	536 鈴木克彰 (新潟大・院) : 新潟県佐渡市佐和田地区における食料品買い物行動と社会的つながりの関係性	636 菊川翔太 (京都大・院) : オーストラリアにおけるブータン人サッカーリーグの展開
11:00	537 坂井美月 (熊本大・学) : 熊本県八代市郡築におけるトマト産地の発展と労働力基盤	637 宋 苑瑞 (秀明大) : カリフォルニアの山火事の原因分析と解決策に関する考察—気候変動ではなく農業と水資源消費の視点から
11:20	538 池田和子 (農政調査委員会) : 農業季節労働力の持続的確保にむけて—愛媛県八幡浜市真穴地区の事例から	638 原 裕太 (東北大) : 高度経済成長は現代中国の自然環境をどう変えたのか?
11:40	539 柳本知宏 (立命館大・学) : 山口県周防大島町における農業経営の展開と技術・知識の習得	639 浅田晴久 (奈良女子大) ほか: デリー首都圏の大気汚染とパンジャブ州の野焼きの関連
12:00	昼 休 み	

第2日目 3月20日 (木・祝) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻	
<p>〈災害〉</p> <p>733 土田航大（立命館大・学）：水害関連地名による水害危険性の評価の可能性—木津川市旧木津町域を事例に</p> <p>734 鈴木比奈子（専修大）ほか：文化遺産防災マップによる被害推定と能登半島地震・奥能登豪雨における被害状況</p> <p>735 目代邦康（東北学院大）ほか：能登半島地震によって発生した河北潟周辺域の液状化現象の特徴</p> <p>736 海津正倫（名古屋大・名誉）：緊急撮影空中写真にもとづく能登半島豪雨災害による地形変化</p> <p>737 佐藤 浩（日本大）ほか：令和6年能登半島地震による石川県輪島市八太郎峠西方の巨大地すべりの変位の計測と活動履歴の推定</p> <p>738 中村天嶺*（茨城大・院）・小荒井 衛（茨城大）：シュミットハンマーを用いて把握した岩盤強度と地すべりや地震との関係性—2004年新潟県中越地震を例に</p> <p>739 吉田圭佑（都立大・院）ほか：CバンドSAR衛星データに基づく機械学習モデルを用いた浸水域の抽出</p>	<p>〈気候〉</p> <p>831 増田耕一（立正大）ほか：日記天気記録から復元推定された天保期前後の夏の日本の日射量と東北の冷夏</p> <p>832 市野美夏（情報・システム研究機構）ほか：市場経済への異常天候の影響—1830年代の日射量変動と穀物価格の連関</p> <p>833 新田 啓（お茶の水女子大・院）ほか：日本におけるウメ、サクラ開花日の地域差と気候変動との関係</p> <p>834 三上岳彦（都立大・名誉）ほか：諏訪湖の結氷・御神渡り発生と気象条件の関係</p> <p>835 加藤内藏進（岡山大・名誉）ほか：ドイツと日本における夏の気候比較とシューベルトの歌曲《春に》の鑑賞（異質な他者との出会いを促す大学での学際的授業の実践報告）</p> <p>836 藤部文昭：日本の暑夏に対する短期気候偏差・長期気候変動および都市昇温の寄与評価の試み</p> <p>837 中川清隆（立正大）：ミランコビッチにより計算された赤道地表面温度日変化について</p> <p>838 野津雅人（都立大）ほか：春・秋季降水が重要な地域の分布の全球降水データセットを用いた解析</p> <p>839 福井幸太郎（富山県立山カルデラ砂防博）ほか：UAV-LiDARによる立山黒部アルペンルート沿いの積雪深分布観測</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p>	
	<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第2日目 3月20日 (木・祝) 午前

開始時刻	第 9 会 場
	<地形>
9:00	931 河合貴之*(栗駒山麓ジオパーク推進協議会)・青木かおり(北海学園大):東北南部,仙北地域と三陸沖ODP1151Cコア間の中期更新世テフラの対比とその地形面編年への適用
9:20	932 北村 繁*(新潟大)・村野正景(静岡大):火山ガラスのWDS分析からみた土器製作への火山灰利用—中米・エルサルバドル,チャルチュアパ地域のウスルタン様式土器の分析事例
9:40	933 阿子島 功(山形大・名誉):ペルー,ナスカ台地上面の過去2000年間の地形プロセス
10:00	934 猪又雅史*(北海道大・院)・早川裕式(北海道大):都市近郊山地における登山道地形の特徴と利用の分析—札幌市藻岩山を例に
10:20	935 松岡憲知(茨城大):淘汰構造土の分布・形態・形成プロセス
10:40	936 有江賢志朗*・田殿武雄(宇宙航空研究開発機構):衛星搭載L-Band合成開口レーダを用いた1990年代～現在のELA変化の観測
11:00	937 竹花佑香子(新潟大・学)ほか:飛驒山脈北部に存在する氷河および多年性雪溪の氷厚,流動,質量収支の観測
11:20	938 齊藤 建(新潟大・院)・奈良間千之*(新潟大):飛驒山脈の多年性雪溪の形成条件
11:40	939 杉山博崇*(新潟大・院)・奈良間千之(新潟大):白馬連山における凍結融解作用の観測
12:00	昼 休 み

## 第2日目 3月20日 (木・祝) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム7	シンポジウム8	
植生地理学のこれまでとこれから ——地理学的視点からの 植生研究の進展をめざして—— 〔オーガナイザー〕高岡貞夫（専修大）・磯谷 達宏（国土館大）	『日本の都市地理学研究』をこえて 〔オーガナイザー〕阿部和俊（愛知教育大・名 誉）・兼子 純（愛媛大）・西山弘泰（駒澤 大）・小泉 諒（神奈川大）	13:00
開始時刻 13:00	開始時刻 13:00	13:20
13:00-13:05〔趣旨説明〕 高岡貞夫（専修大）・磯谷達宏（国土 館大）	13:00-13:05〔趣旨説明〕 阿部和俊（愛知教育大・名誉）	13:40
13:05-13:20 S701 磯谷達宏（国土館大）：日本の植生帯 に関する諸研究の展望	13:05-13:25 S801 香川貴志（京都教育大）：日本の ニュータウンをめぐる現状と課題	14:00
13:20-13:35 S702 小川滋之（ふじのくに地球環境史 ミュージアム）：本州中部の落葉広葉 樹林域にみられるヤエガワカンバ林の 地理分布	13:25-13:45 S802 山口 覚（関西学院大）：日本における 若年労働者の就職移動と都市への影響 —集団就職がもたらしたもの	14:20
13:35-13:50 S703 高岡貞夫*・荻谷愛彦（専修大）：長期 的視点でみる地形と植生の関係—約 1100年前の地表変動で形成された森林 植生の事例	13:45-14:05 S803 竹中克行（愛知県立大）：分析学と計 画論の橋渡し—名古屋・中川運河再生 に関わる合意形成の実践から	14:40
13:50-14:05 S704 吉田圭一郎（都立大）：構成種の動態 プロセスからみた森林限界の形成と気 候変化にともなう移動	14:05-14:25 S804 田中健作（金沢大）：都市の交通とモ ビリティの地理学研究に向けて	15:00
14:05-14:20 S705 吉田明弘（鹿児島大）：東日本の植物化石 からみた最終氷期以降における植生分布	〔休憩〕 14:25-14:35	15:20
14:30-14:45 S706 富田啓介（愛知教育大）：里地里山の 地生態学的特色と研究動向	14:35-14:55 S805 谷本 涼（帝京大）：アクセシビリティ で見通す都市生活の行方	15:40
14:45-15:00 S707 鈴木重雄（駒澤大）：里山の社会—生態系 の変化に対する植生地理学からのアプロ ーチ	14:55-15:15 S806 熊野貴文（北海道教育大）：大都市圏 出身者の増加と持家取得行動	16:00
15:00-15:15 S708 手代木功基*（金沢大）・藤岡悠一郎（九 州大）：採集によってつくられる植生景 観—トチノギ巨木林の成立を事例に	15:15-15:35 S807 秋元菜摘（静岡大）：今後の都市地理 学を見据えて—コンパクト・スマー トシティの視角	16:20
15:15-15:30 S709 若松伸彦（日本自然保護協会）：日本にお ける自然観と人為的インパクトの変遷	〔総合討論〕 15:35-17:00	16:40
〔コメント〕 15:30-15:40 小泉武栄（東京学芸大・名誉） 15:40-15:50 水野一晴（京大・名誉） 〔総合討論〕 16:00-17:00	終了時刻 17:00	17:00

## 第2日目 3月20日 (木・祝) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 5 会 場
	シンポジウム9	
13:00	ジオラマ地理学の課題と可能性 ——地理学の根源を探る——	
13:20	〔オーガナイザー〕 三原昌巳 (跡見学園女子大) ・野中健一 (立教大)	13:00~14:00 ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場
	開始時刻 13:00	
13:40	13:00-13:05〔趣旨説明〕 三原昌巳 (跡見学園女子大)	
	13:05-13:20	
	S901 野中健一 (立教大) : 地理学の構造的 見方をジオラマで示す試み	
14:00	13:20-13:35	〈農業・農村〉
	S902 内藤 保(立教セカンドステージ大・学) : 自分史・原風景とジオラマづくり	544 周 芷伊 (東京女子大・院) : 農村地域 における外国人女性の定住過程と地域 社会への参加—国際結婚で山形県に移 住した中国人女性を事例として
14:20	13:35-13:50	
	S903 三原昌巳 (跡見学園女子大) : 旅の記 憶をジオラマ制作で表現する挑戦	545 広田 嵩 (金沢大・院) : 砺波平野にお ける女性農業者の活動—農業・家庭・ 地域社会との調整に着目して
14:40	13:50-14:05	
	S904 山内洋美 (宮城県仙台西高) : 学校周 辺のジオラマをつくる—地域調査の力 を身に付け地域の未来を想定するため に	546 石崎 楓 (京都大・院) : 野生植物利用 の場としての屋敷地が果たす機能—鈴 鹿山脈北部地域を事例として
15:00	14:05-14:20	
	S905 大下由乃*・末永芽久 (立教大・院) : 魅せるジオラマ—共感できる情景表現	
	14:20-14:35	
	S906 林 日佳理 (岐阜大) : 文学研究者から 見たジオラマ地理学	
15:20	14:35-14:50	
	S907 岩田修二 (都立大・名誉) : 地理論文 の結果をジオラマにする試み	
15:40	〔コメント〕 14:50-15:05 坂本直樹 (さかつう) ・高木彰彦 (九 州大・名誉) ・湯澤規子 (法政大)	
16:00	〔休憩〕 15:05-15:25	
16:20	〔総合討論〕 15:25-16:10 〔司会〕 三原昌巳 (跡見学園女子大)	
16:40		
	終了時刻 16:10	
17:00		

第2日目 3月20日 (木・祝) 午後

第 7 会 場	第 9 会 場	開始時刻
13:00~14:00 ポスターセッション発表者による説明 ポスター会場		13:00  13:20  13:40
<p>〈災害〉</p> <p>744 三浦エリカ（早稲田大・院）：神奈川県横須賀市における自然災害リスクの地域差と町内会・自治会の防災意識—共助の主体としての自主防災組織を対象に</p> <p>745 森 康平（兵庫教育大連合大学院・院）ほか：災害知識を避難行動に反映させる津波防災教育の構築—徳島県海陽町穴喰浦の児童を事例として</p> <p>746 坪井壺太郎（帝京大）：栃木県における災害時孤立可能性集落の人口推計と対応方策に関する研究</p> <p>747 児玉尚汰（駒澤大・学）：岩手県大槌町における災害弱者の行動分析—東南アジア系外国人労働者を事例に</p>	<p>〈地形〉</p> <p>944 渡邊達也（北見工業大）：大雪山と知床連山における永久凍土・周氷河プロセス調査</p> <p>945 八木浩司（深田地質研）ほか：ランタン・ヒマール東部山麓部の巨大なGunsakot地すべりの発生年代</p> <p>946 水野向陽（新潟大・院）ほか：中央アジア，天山山脈北部地域の氷河・モレーンコンプレックス（GMC）の形成環境</p> <p>947 宇佐見星弥（北海道立総合研究機構）：北海道の活動性地すべり地形データマップを活用した地すべり発生場の定量化の試み</p> <p>948 當麻央介*（名古屋大・院）・齋藤 仁（名古屋大）：D-InSARを用いた南アルプスにおける活動性地すべりの時系列解析—諸子沢地すべりを事例に</p> <p>949 太田凌嘉（中央大）：テクトニクスに対する斜面形状の多様性—福島県・阿武隈山地の夏井川流域を例に</p>	14:00  14:20  14:40  15:00  15:20  15:40  16:00  16:20  16:40  17:00

# 第1・2日目 3月19・20日 (水・木祝)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(水)10時～17時までと3月20日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日(水)16時～17時もしくは3月20日(木)13時～14時のコアタイムに行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |  |   |
|--|---|
| P001 鈴木修斗(東海大) : COVID-19パンデミック以降のタイ・チェンマイにおける新興商業地区の店舗構成変化—ニマンヘミン地区を事例として   | P011 上杉昌也(福岡工業大)ほか : 大都市圏における多様なセグリゲーションと転居行動に関する調査速報集計                     |
| P002 大谷さくら(徳島大・学)ほか : 外国人観光客における期待度と満足度のギャップとその要因に関する研究—京都嵯峨野・嵐山エリアを対象として  | P012 栗林 梓(皇學館大) : 都市雇用圏別にみた日本の大学教育機会の地域間格差—学問分野に着目して                        |
| P003 滝口なずな*(東京学芸大・学)・牛垣雄矢(東京学芸大) : 長瀬におけるかき氷の名物化の過程とその背景   | P013 金吉航毅(明治大・院) : 公営動物園の「再整備」による空間変容—アクターネットワーク理論を用いた地理学的分析                |
| P004 成田慶太(横浜市立大・院) : 東京都区部におけるサウナ施設の立地特性   | P014 李 翔*(早稲田大・院)・野津 喬(早稲田大) : GI製品に対する消費者の認識に関する研究—地域と製品の結びつきに着目して         |
| P005 坂口 豪(宇都宮共和大学) : 地方大学のまちづくりやまち歩きを行うサークルの活動—宇都宮共和大学まちまちサークルの事例から  | P015 高橋健太郎(駒澤大)ほか : 駒澤大学所蔵外邦図の特徴と稀観図  |
| P006 植松尚太(佐賀大・学)ほか : 山鹿市豊前街道商店街における業種構成の変化とその要因  | P016 喻 婕*(駒澤大・院)・田中 靖(駒澤大) : 衛星リモートセンシングと機械学習による中国・洞庭湖の土地被覆変化の解析            |
| P007 堀川 泉*(京都大・院)・埴淵知哉(京都大) : クラフトビールはローカルな味わいを醸すのか—全国の醸造所に対するアンケート調査の定量的分析  | P017 潘 毅(筑波大・院)ほか : 機械学習 Samgeoを用いた高解像度衛星画像からの建物データの抽出                      |
| P008 鉦塚賢太郎(龍谷大) : 日本における産業の地理的近接性の測定—どの産業と共に立地しているのか?  | P018 岩崎亘典*(鳥取大)・Delucchi, L.(エドモンド・マッハ財団) : 農地管理用アプリ DigiAgriApp の開発と日本での活用 |
| P009 Kamakura, N.*(The Univ. of Tokyo) and Baeza-gonzalez, S.(Univ. of Concepción): Concentration and colocation dynamics: Spatial patterns of technological innovation in Japan (1975–2014) | P019 荒堀智彦(日本大) : 化学物質汚染における汚染ハザードマップと地理空間情報の活用—有機フッ素化合物(PFASs)に関する情報配信の事例   |
| P010 矢部直人*・若林芳樹(都立大) : コロナ禍における日本の居住地選好の変化—マルチレベル分析の結果   | P020 小関祐之(教育政策研)ほか : 地理総合における防災教育の現状と課題                                     |

# 第1・2日目 3月19・20日（水・木祝）

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日（水）10時～17時までと3月20日（木）9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日（水）16時～17時もしくは3月20日（木）13時～14時のコアタイムに行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |  |  |
|--|--|
| P021 栗城亮大（都立大・学）：大都市圏郊外における新たな公共交通としての都市型シェアサイクルの有効性と課題                          | P031 東晃太郎*（奈良教育大・学）・河本大地（奈良教育大）：「全国へき地教育研究連盟」加盟校の分布と地理学的アプローチからの考察   |
| P022 平野勇二郎（国立環境研）ほか：国内における新型コロナウイルスによる移動制限時の部門・業種別二酸化炭素排出量の変化                    | P032 橋本操（岐阜大）：木曾郡王滝村における伝統野菜王滝カブの栽培と郷土食すんき作りに関する研究                   |
| P023 伊藤修一（帝京大）：1990年代以降の市区町村別に見た日本の軽乗用車普及の地域差                                    | P033 浦山佳恵（長野県環境保全研）ほか：木曾開田高原における黒色土の土壌断面と <sup>14</sup> C年代、安定炭素同位体比 |
| P024 白戸将希*（埼玉大・院）・小口千明（埼玉大）：都市近郊農村周辺の土地利用と地形との関係に関する一考察                          | P034 岡本透（森林総合研）ほか：長野県開田高原における過去100年の草地面積の変化                          |
| P025 坪本裕之*（都立大）・桑原優太（都立大・学）：2000年以降の東京郊外多摩市における住宅供給と居住動向                         | P035 武内樹治（奈良文化財研）：人口減少が進む集落における文化財の空間的推定と動向                          |
| P026 高杉航大（東海大・学）ほか：神奈川県松田町における駅前商店街の機能変化一店舗構成と土地利用の変化に着目して                       | P036 後藤泰彦（千葉県立柏の葉高）：銭湯の現状に関する経過報告—千葉県を主として                           |
| P027 土居晴洋（大分大）：近代期東京市における墓地立地の地域的特質  | P037 穴野亜唯（東海大・学）ほか：農山村における地域祭りの創出と発展要因—神奈川県松田町の寄ロウバイまつりを事例として        |
| P028 畑中健一郎*・須賀丈（長野県環境保全研）：草地の自然的・文化的価値の再評価による保全・再生の試み—長野県開田高原における外部ボランティアの受け入れ事例 | P038 永迫俊郎*（鹿児島大）・堀信行（都立大・名誉）：テコテンドンと屋久島岳参りにみる集落と山の関係性および行事の変容        |
| P029 渡邊敬逸（愛媛大）ほか：宇和盆地におけるソル・コウノトリの生息環境保全に関する「ふれあい調査」の実践報告                        | P039 橋詰直道（駒澤大・名誉）ほか：山崎直方が描いた「ふるさと」高知のスケッチ画と生家                        |
| P030 清水和明*（神奈川大）・田口俊夫（田村明記念・まちづくり研究会）：大都市近郊の市街化調整区域における農地転用の実態とその地域的特徴—横浜市を事例に   | P040 久保純子*（早稲田大）・清水長正（早稲田大・非常勤）：山崎直方による初期の地質学雑誌・地理学評論等の雑報            |

# 第1・2日目 3月19・20日 (水・木・祝)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(水)10時～17時までと3月20日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日(水)16時～17時もしくは3月20日(木)13時～14時のコアタイムに行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P041	渡邊洋心(大阪公立大・院) : アートはいかに公害の歴史を継承するのか—大阪市西淀川区におけるアートプロジェクトへの参与観察を通じて	P051	大和広明(埼玉県環境科学国際センター)ほか: 首都圏における夏季晴天日の日最高気温の長期変化傾向—高密度気温観測網のデータを用いて
P042	横山俊一(長野県文化振興事業団)ほか: 「文化芸術×防災」新たな防災普及の試み	P052	浜田 崇(長野県環境保全研)ほか: 透水性舗装および芝地舗装における夏季の表面温度特性
P043	高場智博(五島列島ジオパーク推進協議会)ほか: 五島列島での展示・トークイベントでの学びと反響—若手自然・人文地理学者による学際共同研究とアウトリーチの試み	P053	斎藤剛輝(法政大・学)ほか: 当麻鐘乳洞における小気候特性
P044	早川裕式(北海道大)ほか: 自然地理に関するVRの教育的活用—インターナショナルスクールでの試み	P054	青山雅史*(群馬大)・会津圭悟(群馬大・学): 群馬県南東部とその周辺地域における伝統的水防建築「水塚」の分布とその変遷
P045	千葉 晃(杉並区立東原中): 北海道内の空港の寒さについて—冬季におけるグランドハンドリング業務の視点から	P055	田村裕彦(田谷の洞窟保存実行委員会)ほか: 神奈川県柏尾川流域における地下文化遺産を活用した災害リスクの評価のための基礎調査
P046	川島朋佳(東京学芸大)ほか: 保育者における季節感を育む活動の関心に関わる経験時期の特徴—広大な自然を擁する大学附設園舎を対象として	P056	小森次郎*(帝京平成大)・千葉達朗(アジア航測): 千島列島の活火山を対象とした津波発生の危険度評価の試行
P047	飯島慈裕(都立大)ほか: 永久凍土融解に伴うL-DLBシステムの形成とその影響	P057	森田匡俊(岐阜聖徳学園大)ほか: 沿岸観光地における宿泊施設の津波避難対策
P048	張 皓文*(日本大・院)・森島 済(日本大): 東アフリカにおける降水量の年々変動と大気循環場との関係	P058	藤 媛媛(東北大): 在日中国人の防災対策と近隣ネットワークとの関連
P049	赤坂郁美(専修大): 羽村日誌の天候記録を用いた1869～1924年の羽村における気候特性	P059	宗 建郎(志学館大)ほか: 火山災害想定地における小学校の防災教育—鹿児島県の桜島を事例に
P050	平野淳平(帝京大)ほか: 中部日本におけるヒノキ年輪幅データと山形県川西町における日記天候記録との相互比較による冬春季気候復元の試み	P060	岩佐佳哉(大分大)ほか: 災害対応支援における浸水推定図の作成—令和6年台風第10号に伴う大分県由布市湯布院町における浸水被害の事例

# 第1・2日目 3月19・20日（水・木・祝）

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日（水）10時～17時までと3月20日（木）9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日（水）16時～17時もしくは3月20日（木）13時～14時のコアタイムに行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P061	松岡 農（江戸川学園取手中・高）：防災集団移転跡地のサードプレイス化—仙台市若林区荒浜地区を事例に	P071	木口雅司（東京大）ほか：流域治水対策の推進に資する合意形成に向けた手法開発
P062	佐藤 剛（東京都市大）ほか：2024年台風YAGIの豪雨によりベトナム・ラオカイ省で発生した大規模地すべり	P072	植木岳雪（帝京科学大）：東京都世田谷区、等々力溪谷の形成史
P063	南雲直子（土木研）ほか：山地河川の土砂輸送能力を評価する地形指標について	P073	吉田一希*（国土地理院）・小荒井 衛（茨城大）：平野部のLiDAR DTMから微小な人工地形を自動除去する簡易的手法の考案
P064	清水長正（早稲田大・非常勤）ほか：阿寒富士西麓の熔岩地形と森林植生	P074	西城 潔（宮城教育大）：段丘地形発達史と地域社会の変遷を関連付ける試み—宮城県広瀬川を例に
P065	長田強志*（日本大・院）・森島 済（日本大）：鬼怒川源流域における針広混交林の構造と地形との関係	P075	佐藤俊文：房総半島中西部湊川下流域の地形発達に関して
P066	秋山翹一*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：三富新田とその周辺地域の地下水の地理学的研究	P076	八反地 剛（筑波大）ほか：LiDAR DEMを用いた中世山城の築造による地形改変の分析
P067	小永吉温志*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：淡路島の水環境に関する水文地理学的研究（2）	P077	齋藤 愛*（武揚堂）・市川清士（駒澤大）：沖縄島山里地域におけるカルスト凹地の特徴について
P068	中岡和好*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：吉野川水系貞光川と穴吹川の流域環境の違いが水質に与える影響（1）	P078	羽田麻美*（琉球大）・桑原香澄（琉球大・学）：与論島における溶食凹地の分布と形状
P069	田代 豪*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：佐賀平野のクリーク水質に関する水文地理学的研究（1）	P079	齊藤 桂（新潟大・院）ほか：リモートセンシングに基づく周氷河砂礫斜面の地形変化
P070	平間怜音（関東学院大・学）ほか：霞ヶ浦西岸の水神の特徴と北浦や手賀沼との比較	P080	堀 和明（東北大）ほか：海進から海退への転換点付近にみられる開析谷充填堆積物

# 第1・2日目 3月19・20日 (水・木・祝)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(水)10時～17時までと3月20日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日(水)16時～17時もしくは3月20日(木)13時～14時のコアタイムに行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |  |  |
|--|--|
| P081 齋藤慎之佑 (東京都市大・学) ほか：瀬戸内海・興居島を対象とした崩壊に伴う土石流流下範囲の推定—平成30年7月豪雨により発生した土石流シミュレーションを基に | P091 岡田丈太郎 (新潟大・院) ほか：天山山脈北部地域における短命氷河湖の形成に関する融解水の影響について     |
| P082 山口朱莉 (東京都市大・学) ほか：2020年台風 Molave の豪雨によりベトナム中部・クアンナム省で発生した表層崩壊の分布特性と地質との対応関係     | P092 松下紗弥歌 (東京都市大・学) ほか：熟練氷河地形学者の地形判読プロセスをひもとく—アイトラッキングを活用して |
| P083 坂井飛斗 (新潟大・学) ほか：冬期に活動する上越市・雁平地すべりの変動特性  |  |
| P084 島津 弘 (立正大)：中国西部，莫高窟が立地する地形  |  |
| P085 佐藤善輝* (産総研)・小野映介 (駒澤大)：京都盆地南部・巨椋池干拓地におけるボーリング調査                                 |  |
| P086 森野泰行 (滋賀県立米原高) ほか：耳川・百瀬川における谷中分水界周辺の水系変化  |  |
| P087 藁谷哲也*・江口誠一 (日本大)：西オーストラリア・バラップ半島における岩石ワニスを伴う岩塊表面の色彩と硬度の関係                       |  |
| P088 平野優人 (東京学芸大・院) ほか：房総半島東部の海岸線の屈曲度と岩石強度との関係                                       |  |
| P089 高井智大* (東京学芸大・学)・青木久 (東京学芸大)：滝の後退に伴う谷の横断面形の変化に関する一考察                             |  |
| P090 新井大樹 (新潟大・学) ほか：天山山脈北部地域における氷河・モレーンコンプレックスの内部構造                                 |  |